

平成29年4月16日(日)
りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館 能楽堂

〔第2回〕 16時開演(15時30分開場)

仕舞 実盛 観世喜之
仕舞 千手 高橋康子
仕舞 藤戸 永島忠修
狂言 佐渡狐 善竹十郎
能 船弁慶 遠藤和久 遠藤喜久
重前後之替

春の能楽鑑賞会
【観世流】
〈第2回〉
戦の中の愛と別れをテーマに
「平家物語」の能を
連続上演!



船弁慶

義経と静の涙の別れ
弁慶と平家怨霊の対決

◆チケット料金
S席:5,000円 | A席:4,500円 | B席:4,000円
U25(B席):2,000円
※25歳以下の方対象(未就学児を除く)
ご入場時に年齢がわかるものをご提示ください。
りゅうとびあのみ取り扱い。

◆発売日
<N-PACmate(友の会)先行>1月25日(水) <一般>1月26日(木)

◆取扱い
りゅうとびあ・新潟伊勢丹・文信堂CoCoLo万代・セブン-イレブン(セブンチケット<http://7ticket.jp/>)・
りゅうとびあオンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryuotopiaticket/>

◆お申込み・お問い合わせ
りゅうとびあチケット専用ダイヤルTEL.025-224-5521(11:00~19:00/休館日を除く)



主催:公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団

平成29年4月16日(日)
りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館 能楽堂

〔第1回〕 12時30分開演(11時30分開場)

お話 能に見る平家物語の愛と怨念 林望
狂言 茶壺 善竹十郎
能 二人静 遠藤和久 遠藤喜久
立出之声

春の能楽鑑賞会
【観世流】
〈第1回〉
戦の中の愛と別れをテーマに
「平家物語」の能を
連続上演!



二人静

◆チケット料金
S席:5,000円 | A席:4,500円 | B席:4,000円
U25(B席):2,000円
※25歳以下の方対象(未就学児を除く)
ご入場時に年齢がわかるものをご提示ください。
りゅうとびあのみ取り扱い。

◆発売日
<N-PACmate(友の会)先行>1月25日(水) <一般>1月26日(木)

◆取扱い
りゅうとびあ・新潟伊勢丹・文信堂CoCoLo万代・セブン-イレブン(セブンチケット<http://7ticket.jp/>)・
りゅうとびあオンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryuotopiaticket/>

◆お申込み・お問い合わせ
りゅうとびあチケット専用ダイヤルTEL.025-224-5521(11:00~19:00/休館日を除く)



主催:公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団

日本人が愛し語り継いできた名エピソードの宝庫

『平家物語』を題材とした二つの能を連続上演します。

義経への想いを二人の静御前の別れ、後半では平家の怨霊との戦いと見どころ盛りだくさんの劇的な「船弁慶」を上演します。

いずれも『平家物語』の中でも有名なストーリーリーがギョツとつまった人気の能です。季節は、桜開花の春。お花見とあわせて日本の伝統芸能をご堪能ください。

春の能楽鑑賞会「観世流」

平成29年4月16日(日)

◆第1回(12時30分開演(11時30分開場))

お話し 能に見る平家物語の愛と怨念

狂言 茶壺

能 二人静

立出之声

シテ(すづ) 善竹十郎
アド(道通) 善竹大二郎
アド(目代) 善竹富太郎

シテ(静御前ノ霊) 遠藤和久
シテ(菜摘女) 遠藤喜久
ワキ(勝手宮神主) 藤田朝太郎

小鼓 幸信吾
大鼓 柿原弘和
後見 永島忠修

高橋康子 奥川恒治
桑田貴志 永島充
小島英明 観世喜正
佐久間二郎 鈴木啓吾

終演予定14時50分

◆第2回(16時開演(15時30分開場))

仕舞 実盛

仕舞 千手

仕舞 藤戸

地謡

シテ(お奏者) 善竹十郎
アド(佐渡の百姓) 善竹富太郎
アド(越後の百姓) 善竹大二郎

能 船弁慶

重前後之替

◆プロフィール



遠藤和久(シテ方観世流能楽師) 1959年生。長岡市出身の観世流能楽師。故遠藤六郎の長男。父、及び観世喜之に師事。1965年に「土蜘蛛」下で初舞台。以降「千歳乱」「石橋、道成寺、安宅勸進帳」などの習い演目を披露。重要無形文化財総合認定保持者。長岡市在住。



遠藤喜久(シテ方観世流能楽師) 1962年生。長岡市出身の観世流能楽師。故遠藤六郎の次男。父、及び観世喜之に師事。1972年に「国柄」下で初舞台。「千歳乱」「石橋、道成寺、望月、安宅勸進帳」などの習い演目を披露。重要無形文化財総合認定保持者。東京都在住。

前シテ(静御前) 遠藤和久
後シテ(平知盛の怨霊) 遠藤喜久
子方(源義経) 遠藤寛和
ワキ(武蔵坊弁慶) 遠藤常好
ワキツレ(判官ノ従者) 舘田善博
ワキツレ(判官ノ従者) 森常太郎
アイ(船頭) 善竹十郎
善竹朝太郎
小鼓 幸信吾
大鼓 柿原弘和
大鼓 桜井均
後見 観世喜之
永島充
中森健之介 佐久間二郎
桑田貴志 中森貫太
坂真太郎 観世喜正
小島英明 奥川恒治
終演予定18時25分

◆(第1回(12時30分開演))は、リンボウ先生(ご)作家の林望さんが解説に登場!



林 望(はやし のぞむ) 作家、国文学者。ケンブリッジ大学客員教授、東京藝術大学助教授等を歴任。『イギリスはおおい』(日本エッセイスト・クラブ賞受賞)などエッセイ、小説で活躍するほか、『譚訳 源氏物語』(毎日出版文化賞特別賞受賞)『譚訳 平家物語』(日本エッセイスト・クラブ賞受賞)など、日本文学や能楽関係の著作を多数刊行している。

◆あらすじ 狂言 茶壺

梅尾で茶を買い求めた男が、酒に酔っばら道で寝てしまいます。すづ(詐欺師)が通りかかり、男が背負っている茶壺を盗もうとたくらみます。すづは茶壺の肩紐に手を通し、目を覚ました男に、茶壺は自分のものだと言張ります。争う男とすづは、目代(代官)に判定を頼むことにしますが…。
男とすづは、判定のためお茶の産地などについて語り舞う相舞が、微妙にずれるのが狂言らしいおもしろさです。

能 二人静

吉野の野辺で女が神職のいつけて若菜をつんでいと、二人の里女が現れ、自分の供養のために神職に写経をしてくれるよう言伝を頼みます。里女は「疑う人があれば、あなたに乗り移って私の名を名のりましょう」と言い、消え失せます。驚いた女が神社に帰り、神職に話していると、女に霊が乗り移ります。女の霊が静御前であると知った神職は、舞を所望し、回向を約束します。宝蔵に収められていた静の舞衣裳を着けた菜摘女が舞い始めると、同じ衣裳を着けた静の亡霊が現れます。昔を懐かしむ二つの静の影が、舞いおさめ回向を頼むと、亡霊は消え、そこに立つのは我にかえらた菜摘女ばかりでした。

静御前の亡霊と、亡霊が乗り移った「二人の静」が同じ衣装で舞う相舞が見どころです。遠藤和久・喜久の兄弟能楽師による息の合った相舞を立出之声という変化のある演出でお楽しみください。

狂言 佐渡狐

越後の百姓と佐渡の百姓が、年貢納めの上京の途中、道づれになります。越後の男が佐渡には狐がいなだらうと言うと、佐渡の男は狐はいると言ひ張り、奏者(取次役人)に判定してもらおうとします。狐を見たことがない佐渡の男は、奏者に賄賂を渡し狐の姿形を教えてもらいます。越後の男の狐についての質問に、佐渡の男は何とか答えていきますが…。
ご当地・新潟の登場人物たちによる、狐についての真剣で滑稽なやりとりが楽しい狂言です。

能 船弁慶

兄・頼朝に追われた源義経は、弁慶らと共に摂津国(兵庫県)・大物浦から西国に落ちようとしています。義経は慕つてついでに静御前をさとし、都へ帰らせることにします。別れの酒宴で、静は舞を舞い、涙ながらに立ち去ります。やがて、義経一行が船出すると、にわか激しい嵐になります。平知盛をはじめとした平家門の怨霊が海上に現れます。知盛の怨霊が難刀で義経に襲い掛かりますが、弁慶の祈りの力によつて退散します。

静御前と義経との別離を描いた優美な前半から一転して、後半では平知盛の亡霊と義経一行との激しい戦いと、見どころ盛りだくさんで『平家物語』の名場面を楽しめる本作は、人気の高い名曲です。今回は、重前後之替という難度の高い特殊演出でお楽しみいただけます。

INFORMATION

ロビーにお茶席が登場! (<第1回>開場時)

<第1回>公演の開場時間(11:30~12:30)では、ロビーでお茶席をお楽しみいただけます。公演前のひとときゆったりとお抹茶はいかがでしょう。



【お抹茶(干菓子付)】500円

お花見とご一緒に

この時期、新潟市は桜の季節です。りゅーとびあ周辺の白山公園や信濃川沿いのやすらぎ堤でもお花見をお楽しみいただけます。能楽堂(5階)ロビーからは、春霞のような桜並木の美しい眺めをお楽しみください。

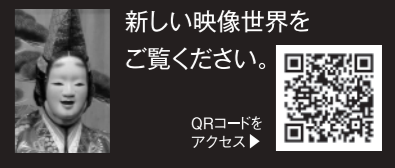


「春能プレ講座」 公演の見どころを出演能楽師がお話や実演でわかりやすく紹介します。

【日時】平成29年3月4日(土)13:30開演(13:00受付開始)
【講師】遠藤和久(観世流能楽師) 遠藤喜久(観世流能楽師)
【会場】りゅーとびあ能楽堂
【参加方法】お申込み不要です。直接会場にお越しください。

【参加費】500円 ※「春の能楽鑑賞会」チケット購入者は無料になります。講座受付で公演チケットのご提示をお願いします。
【お問合先】りゅーとびあ事業企画部
TEL.025-224-7000

最新の予告ムービー配信中!



新しい映像世界を
ご覧ください。



QRコードを
アクセス▶



■会館のご案内
◇新潟駅万代口より車で15分
◇関越自動車道/磐越自動車道新潟中央ICより車で20分
◇新潟駅万代口よりバスで15分~20分
萬代橋ライン(BRT)青山方面行「市役所前」下車徒歩5分
◇新潟空港より車で30分

■白山公園駐車場のご案内
◇白山公園駐車場A,B,C,D合わせて約580台
※障害者用駐車場スペースを用意しております。
※りゅーとびあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は白山公園駐車場(有料30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

